



# 第58回 立命館宇治土曜市民講座

主催 立命館宇治中学校・高等学校 同 教育後援会  
 共催: 文部科学省 私立大学研究ブランディング事業  
 ※ 本研究は文部科学省 私立大学研究ブランディング事業の  
 助成を受けたものです。

## 安定した気候の時代はいかに始まり、いかに終わるのか？ ～ 2つの地質学的記録と「文明の時代」の寿命 ～

現在進行中の「地球温暖化」は、単なる気温の上昇とみなされがちだ。しかし、過去 1 万年間の気候変動から類推すると、来るべき 100 年間に起こりうる地球温暖化によって、私たちは、気候が安定した時代から抜け出そうとしているかもしれない。その出口を抜けた時、この文明社会はどのような脅威にさらされるのだろうか？ 本講演では、1 年に 1 枚形成される特殊な地層「年縞(ねんこう)」に刻まれた地球温暖化の実像を紹介する。



講師

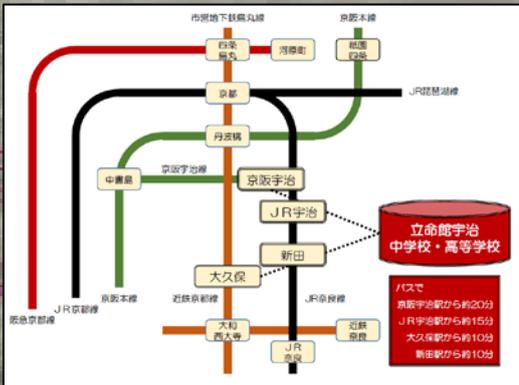
北場 育子氏

立命館大学

古気候学研究センター 准教授

<プロフィール>

神戸大学大学院理学研究科博士課程修了。神戸大学内海  
 域環境教育研究センター特命助教を経て 2014 年より現職。  
 おもな研究分野は古気候学、宇宙気候学。  
 2015 年 第 8 回資生堂女性研究者サイエンスグラント、  
 2018 年日本第四紀学会若手学術賞 受賞。



日時: 2019年6月15日(土)  
 14時～15時30分

場所: 本校 A 棟 4 階 特別講義室

京都京阪バス  
 「立命館宇治高校」下車

近鉄京東線「大久保駅」⇒ バス約 10 分  
 JR 奈良線「新田駅」⇒ バス約 10 分  
 京阪宇治線「宇治駅」⇒ バス約 20 分  
 JR 奈良線「宇治駅」⇒ バス約 15 分

◆ 講座終了後、希望される方にはキャンパス見学も行います。  
 ◆ 本校には駐車場のスペースがなく、また近隣への駐車はできませんので、お越しの際には公共交通機関を御利用ください。

聴講無料・事前予約不要